

## 2021 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 北九州市立洞北中学校 ] 担当教諭名 [ 森本 貴介 ] ( 生徒会・美術部・有志 30名 )  
 相手国・地域 [ インド ]  
 海外学校名 [ Christ Nagar Public School Maranalloor ] 担当教諭名 [ Nandu Raveendran ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	生徒会活動	SDGsの国際的な取り組み	20

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	未来をつくる子ども達
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	食の未来も教育の未来も、考え方や行動の転換から生まれる。 それを担うのは大人だけでなく、私たちのような若い世代からでもよい、だから学び、世界を変えていこう、それは大きな希望となり得る。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の取り組みを通じて、一番の成果は、生徒たちが自分達で調べ、考えることで、世界への見え方や行動が変わるということが分かりました。</li> <li>世界の文化や、自国の文化の魅力に気が付きそこには大きな可能性があることを知りました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動が課外活動であったため、コロナ感染症対策のため活動が休止になり、計画通りにいかなかった。</li> <li>相手国との学習や連絡のタイミングにずれがあり、コミュニケーションが円滑に進めることが出来なかった。</li> </ul>

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国の課題を深く知ることで、一つの事象の裏にある様々な要素と、伝統、価値観の結びつきを理解し、課題解決の難しさを改めて認識した。その一方で、違う価値観から自国の文化を見た場合に考えられる思考には、柔軟に考えることの余地や可能性を感じ、そのことに感動した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手国の問題定義が教育問題ということで、改めて、自国の教育問題や現在行われている教育方針の学びを深め、比較検討することができた。</li> <li>相手国との課題を検討する中で、国々によってバックグラウンド(歴史や価値観)に違いがあり、課題だけでなく重層的な視点の確立が必要になった。</li> </ul>

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国の紹介・北九州市の紹介</li> <li>・参加生徒の紹介</li> <li>・日本の魅力紹介・食文化紹介</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手探りで始まった、アートマイルプロジェクトだったが、自ら調べ学習していく中で、課題に対して興味を示すようになった。</li> </ul>	生徒会
共有 テーマ学習	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の食文化の課題、問題定義</li> <li>・自国の取組み検討</li> <li>・外部機関との連携、計画案の作成</li> <li>・相手国とのコミュニケーションを開始</li> <li>・課題の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画を立てることで、具体的なイメージやアイデアが生まれ、場が活性化した。</li> </ul>	生徒会
融合 メッセージ作成	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国の取組みの開始 (コンポストを使った堆肥作り・子供食堂への参加・堆肥の利用・SDGs学習活動)</li> <li>・相手国の取組み・議論に対してのレスポンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して具体的に取り組むことで、生徒自身にも当事者意識が芽生えた。</li> </ul>	生徒会
創造 壁画制作	12月 ～ 2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国の食に対する課題への取組みに結果を出すことができ、未来への見通しをもつことが出来た。</li> <li>・相手国の課題に対して自国で議論された回答を示し、協働学習に結びつけた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国と相手国とのテーマを結び付け、壁画を描くことで思いをより大きいものにすることが出来た。</li> </ul>	生徒会
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国と相手国とのテーマを結び付け、壁画の制作に結び付け、思いを形にすることが出来た。この作品の制作が次のアクションへの一步に繋がるように、これからも考え続け、世界を変えていかなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国や相手国の実情から課題を導き、解決を探ることの難しさと、可能性を身をもって体験することができた。</li> </ul>	生徒会

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてついていた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化・自文化を理解する力	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自国と相手国との交流の中から、文化の違いを理解し、魅力や可能性に着目できるようになった。</li> </ul>
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自国での取組みや学習を通じて、課題の現実や解決の困難さを知り、改めて思考することの大切さや、奥深さを学んだ。</li> </ul>
主体的に考え行動する力	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を出し合い交流を進めていく中で、興味・関心が高まり、議論が活性化した。そのサイクルの連続から、生徒が次第に主体性をもち、行動して行こうとする強い力が生まれた。</li> </ul>
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの頻度に違いがあり、連絡がかみ合わず、議論の進展が思うようになかった。</li> </ul>
思いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最終的なアウトプットが壁画制作ということで、感覚的・体験的に思いを伝えることが出来た。</li> </ul>